

2016年3月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社キト一(東証1部:6409)

2015年11月12日

2016年3月期 第2四半期 決算報告

2016年3月期 見通し

- <概況>**
- 日本 経済の回復基調が継続、民間の設備投資の需要が堅調に推移
 - 北米 買収効果あり増収、既存事業も堅調だが、エネルギー産業の投資が慎重に
 - 中国 景気減速により需要が低迷、不透明感がさらに強まる
 - アジア 中国経済の減速が波及、設備投資が鈍化

<業績> 前年同期比で増収(40.3%)、増益(76.0%)

－ 国内の堅調な需要、米州でのM&A効果が寄与

売上高	:	25,809 百万円	(前年同期比 +40.3%)
営業利益	:	1,505 百万円	(前年同期比 +76.0%)
四半期純利益*	:	568 百万円	(前年同期比 +12.7%)

*親会社株主に帰属する四半期純利益

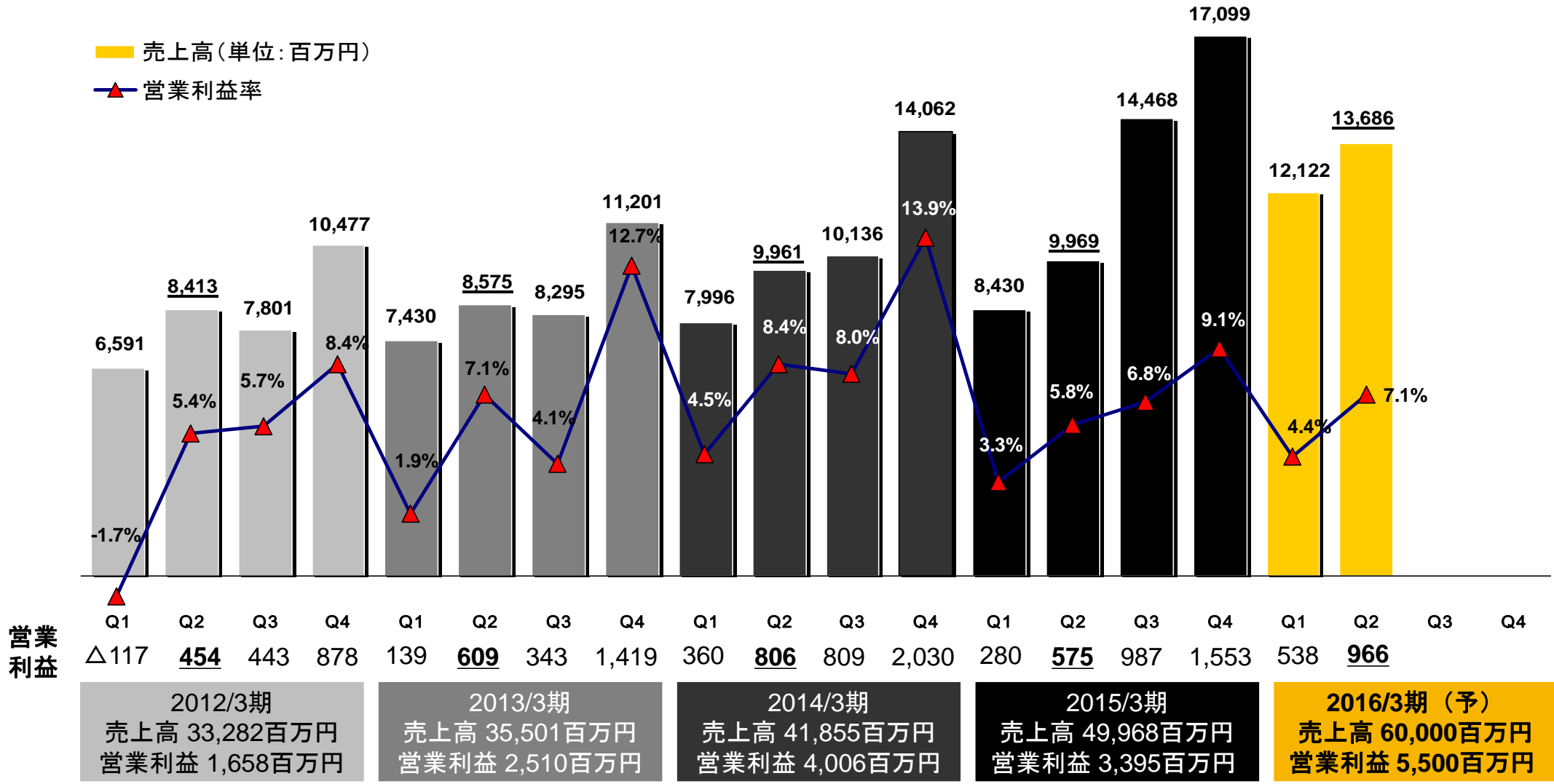
2016年3月期 第2四半期 決算ハイライト

(単位：百万円)	2015/3期 Q2			2016/3期 Q2		
		対売上	前年同期比		対売上	前年同期比
売上高	18,400	100.0%	4.2%	25,809	100.0%	40.3%
営業利益	855	4.6%	△26.7%	1,505	5.8%	76.0%
経常利益	892	4.8%	△25.6%	1,194	4.6%	33.7%
四半期純利益	504	2.7%	△32.2%	568	2.2%	12.7%

注 為替レート(2015/3期Q2→2016/3期Q2) : USD 103.0円 → 121.8円 CAD 94.6円 → 96.1円 EUR 138.9円 → 135.1円 RMB 16.7円 → 19.3円

売上高および営業利益率(四半期比較)

前年同期比で増収(40.3%)、増益(76.0%)。国内の堅調な需要、米国でのM&A効果が寄与



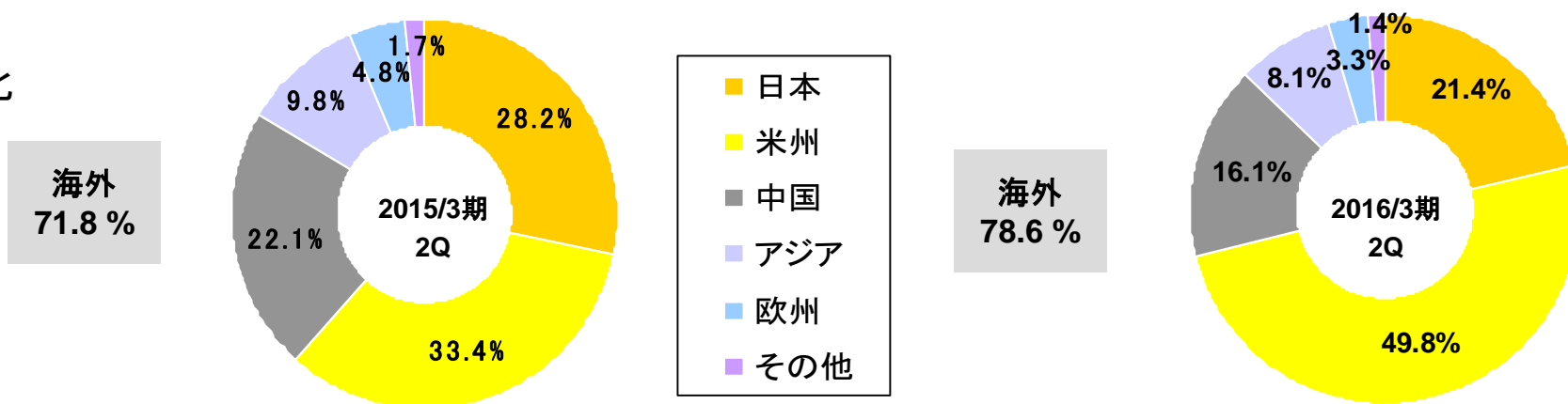
地域別の状況

グローバルな事業展開を引き続き促進、海外売上比率は約 80%

(単位:百万円)	2014/3期 Q2		2015/3期 Q2		2016/3期 Q2		前年同期比	
		構成比		構成比		構成比	増減額	増減率
売上状況	17,657	100.0%	18,400	100.0%	25,809	100.0%	7,409	40.3%
日本	5,002	28.3%	5,182	28.2%	5,520	21.4%	338	6.5%
米州	5,579	31.6%	6,151	33.4%	12,853	49.8%	6,701	108.9%
中国	3,853	21.8%	4,073	22.1%	4,159	16.1%	85	2.1%
アジア	2,068	11.7%	1,796	9.8%	2,082	8.1%	285	15.9%
欧州	753	4.3%	891	4.8%	843	3.3%	△48	△5.4%
その他地域	399	2.3%	304	1.7%	350	1.4%	46	15.3%

注 為替レート(2015/3期Q2→2016/3期Q2) : USD 103.0円 → 121.8円 CAD 94.6円 → 96.1円 EUR 138.9円 → 135.1円 RMB 16.7円 → 19.3円

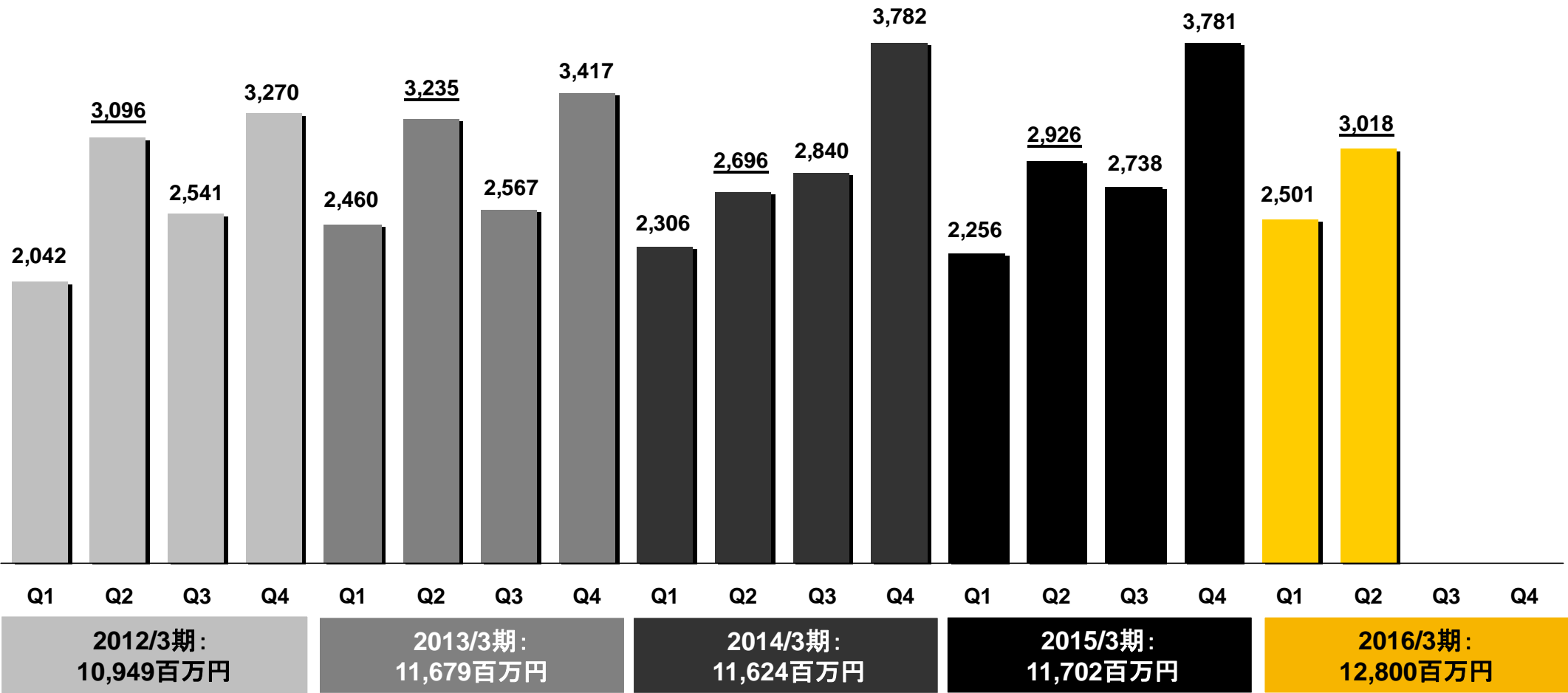
地域別
売上高構成比



地域別売上高(日本)

- 旺盛な民間設備投資向けの需要が継続
- 建設土木の工事向け需要は、下期以降に拡大期待

(単位:百万円)

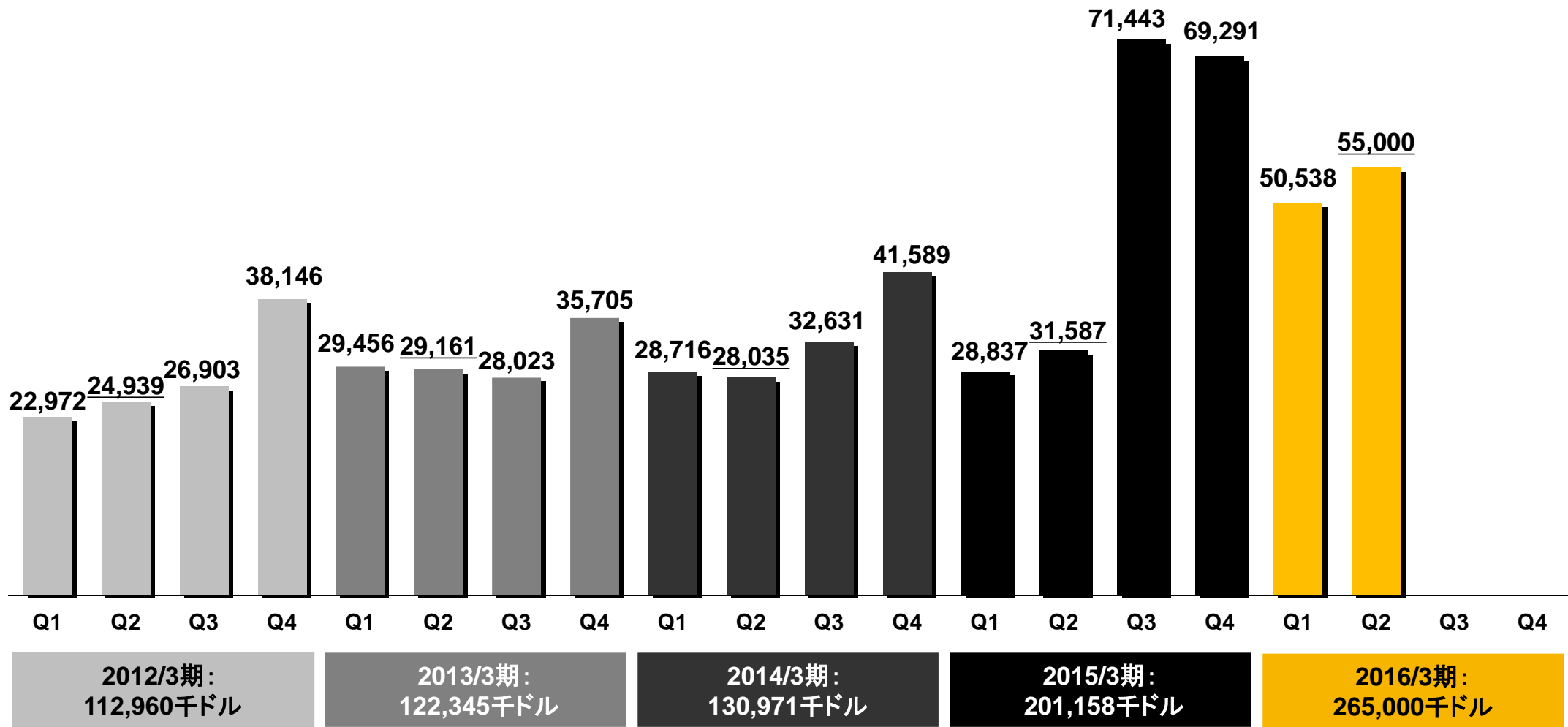


地域別売上高(米州)

※グラフは米国市場売上高にカナダ市場売上高及び中南米市場売上高(千ドル換算)を加算した金額の推移

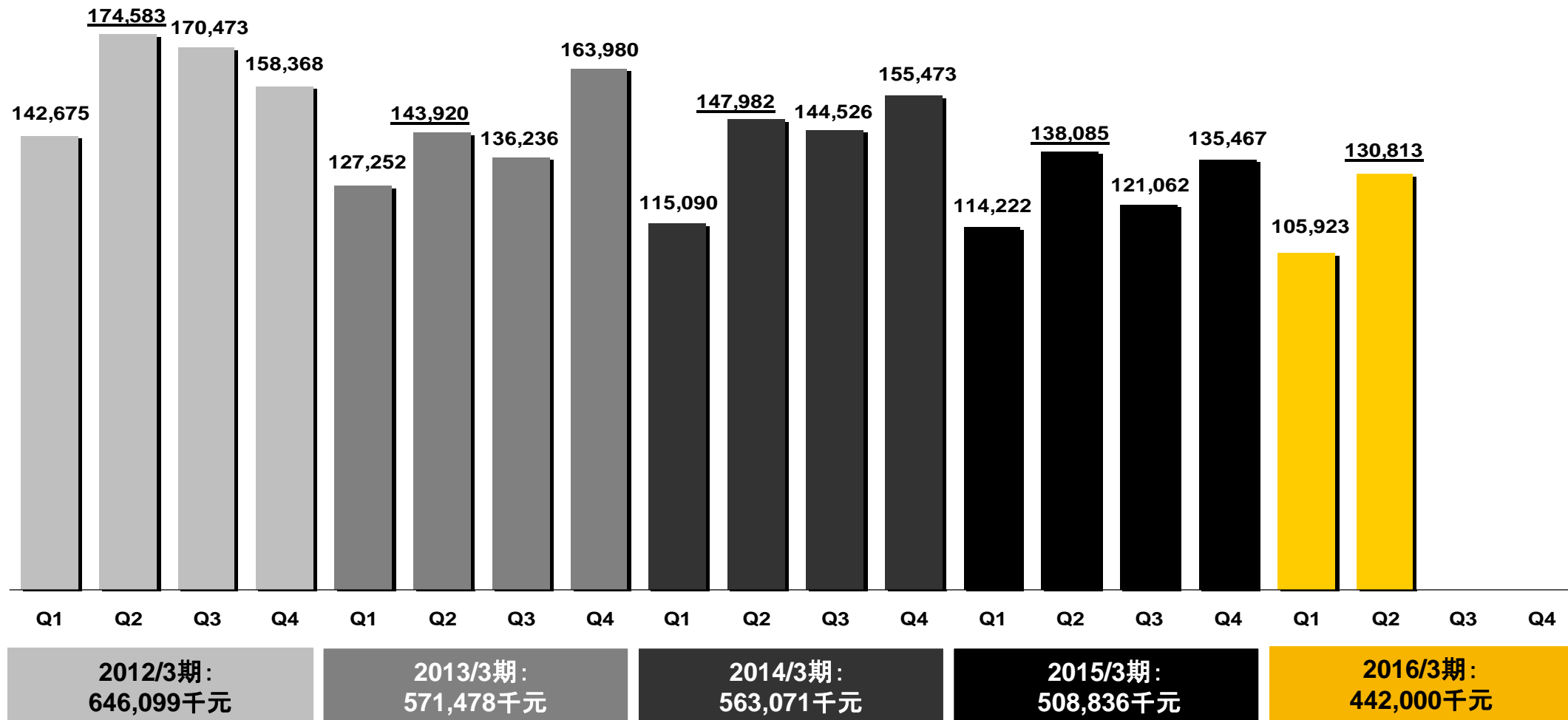
- ピアレス社の買収効果により、大きく増収。既存事業も好調を維持
- エネルギー産業向け、輸出企業向け、投資需要に減速感

(単位:千USD)



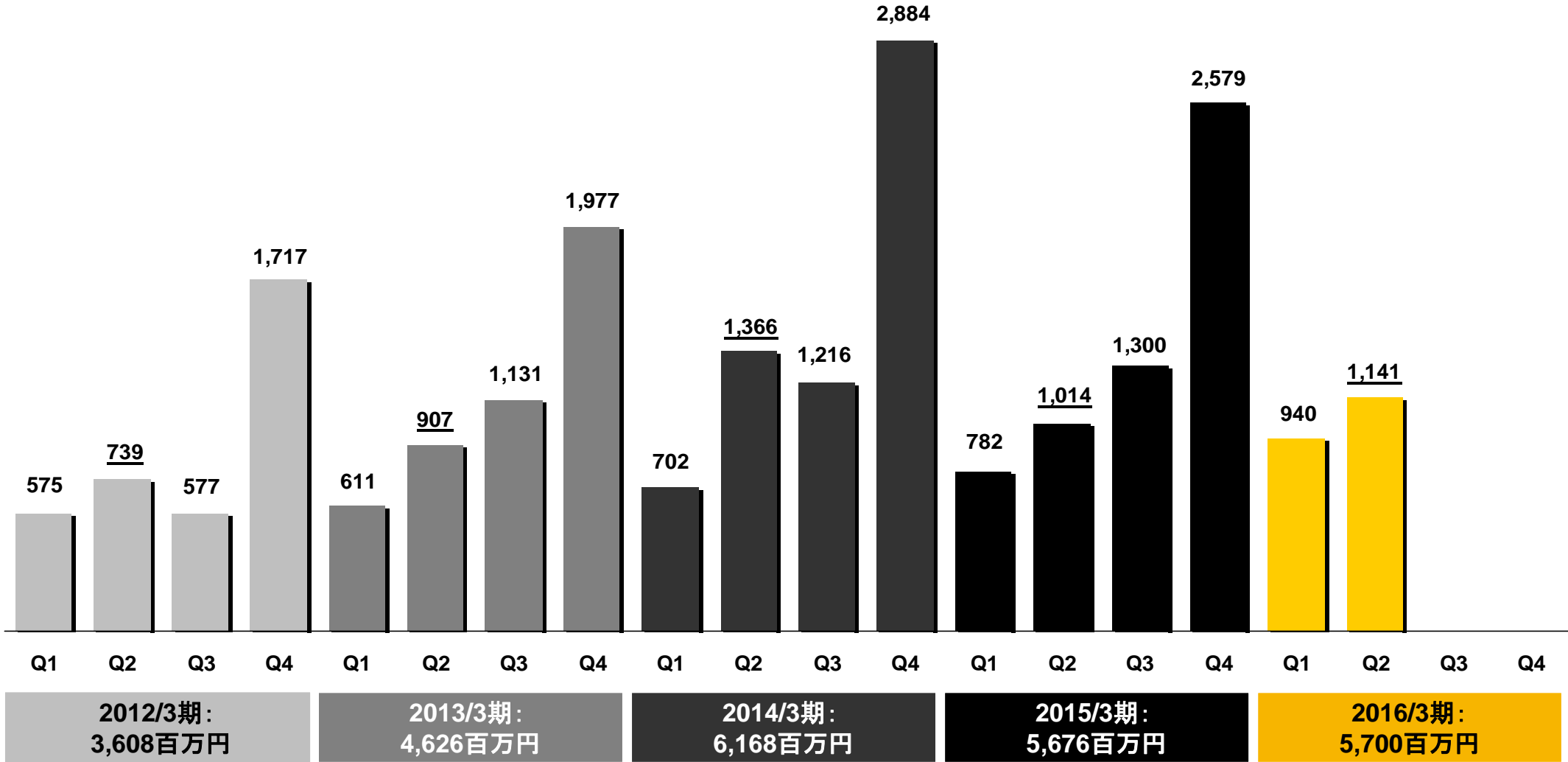
- 経済の減速が続き、景気見通しは依然として不透明
- 需要が全般的に低調ななか、製品の評価は高く市場でのシェアは拡大。

(単位:千RMB)

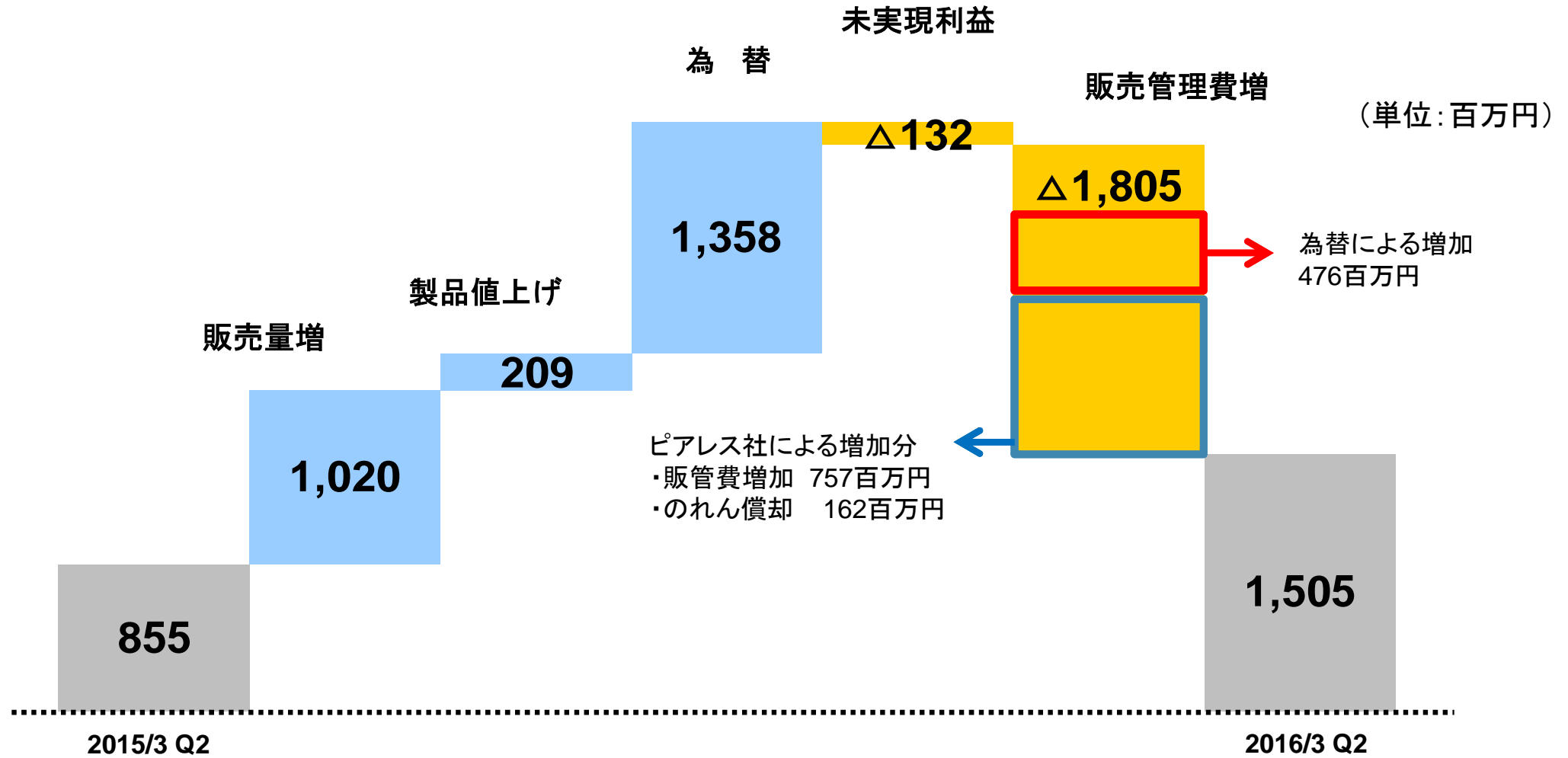


- 中国経済の減速が地域経済に影響し、設備投資の成長に鈍化
- サービス事業、ホイスト販売に注力、利益管理を強化

(単位:百万円)



営業利益の比較



2016年3月期 第2四半期 連結貸借対照表

単位:百万円 (百万円以下切捨て)	2015/3期 期末	2016/3期 Q2	増減額
流動資産	40,478	39,569	△908
現金・預金	9,792	9,400	△391
受取手形及び売掛金	12,593	10,372	△2,221
たな卸資産	15,105	16,628	1,522
その他	2,986	3,167	181
固定資産	22,703	22,708	4
有形固定資産	12,161	12,817	656
無形固定資産	9,009	8,335	△674
投資その他資産	1,532	1,555	22
繰延資産	1	0	△1
資産合計	63,183	62,278	△905

単位:百万円 (百万円以下切捨て)	2015/3期 期末	2016/3期 Q2	増減額
流動負債	17,093	16,309	△783
支払手形及び買掛金	6,113	6,589	476
短期借入金	4,319	4,772	452
その他	6,660	4,947	△1,713
固定負債	20,464	20,160	△303
長期借入金	16,025	15,469	△556
その他	4,438	4,691	252
純資産合計	25,626	25,808	181
負債純資産合計	63,183	62,278	△905

連結キャッシュフロー

単位：百万円 (百万円以下切捨て)	2015年 3月期2Q	2016年 3月期2Q	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	1,353	1,878	524
投資活動による キャッシュ・フロー	△7,816	△744	7,071
財務活動による キャッシュ・フロー	9,028	△1,470	△10,498
現金および現金同等物 に係る換算差額	△774	△45	729
現金および現金同等物 の増減額	1,790	△381	△2,171
現金および現金同等物 の期末残高	8,126	9,395	1,269

主な要因

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕
 税金等調整前当期純利益： 1,194百万円
 売上債権の減少： 2,286百万円
 棚卸資産の増加： 1,608百万円
 法人税支払い 864百万円

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕
 有形固定資産の取得による支出： 603百万円
 無形有形固定資産の売却による支出： 158百万円

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕
 長期借入れによる収入 1,000百万円
 長期借入金の返済による支出 1,400百万円
 社債の償還による支出 1,000百万円

2016年3月期 第2四半期 決算報告

2016年3月期 見通し

日 本



市場環境

- 景気回復基調が持続、民間設備投資は緩やかに上昇
- インフラ整備ほか建築土木の需要が徐々に顕在化

取り組み

- クレーンビルダーとの連携強化
- 新規分野の開拓強化(エンターテイメントなど)

米 州



市場環境

- 米国は幅広い産業で需要あり
- 資源・エネルギー関連の需要が軟調に

取り組み

- 製品品揃えの拡大による市場競争力の強化
- 現地生産の拡大によりサプライチェーン最適化

中 国



市場環境

- 経済が減速、需要の低迷が続く

取り組み

- 需要が低迷するなか、コスト管理を徹底、利益水準の確保に注力
- 現地生産の拡大、製品強化による市場シェア拡大

ア ジ ア



市場環境

- 中国経済の減速が地域経済に影響し、設備投資の成長に鈍化
- 引き続き地域のマクロ情勢の見極めが必要

取り組み

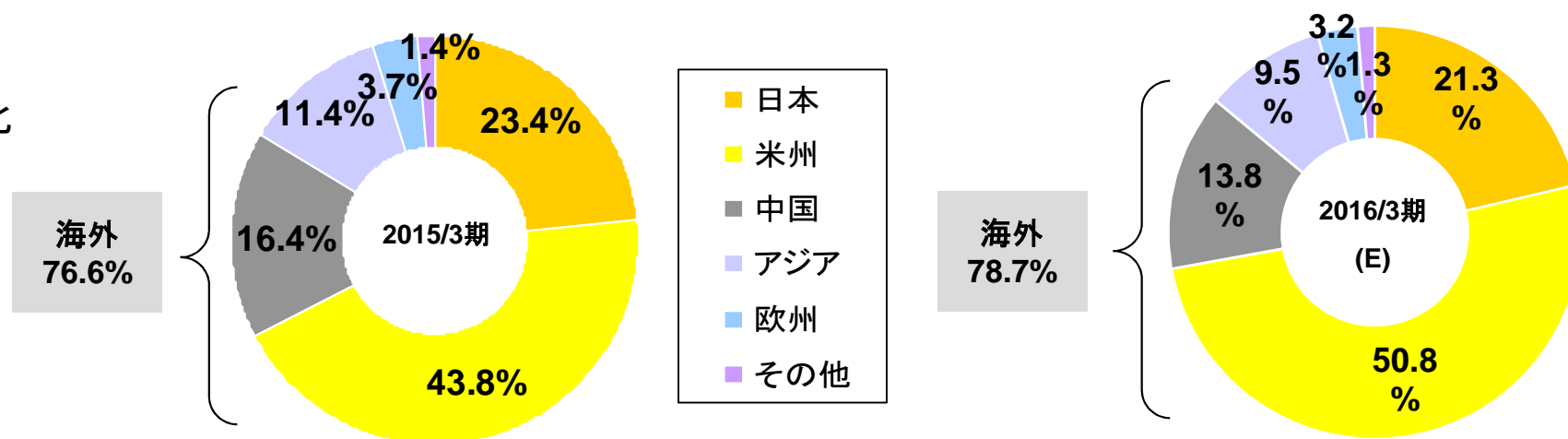
- クレーンのメンテナンスなどサービス事業、ホイスト販売の強化
- 利益管理の強化

2016年3月期 業績予想(地域別)

(単位:百万円)	2015/3期		2016/3期(E)		前期比	
		構成比		構成比	増減額	増減率
売上状況	49,968	100.0%	60,000	100.0%	10,031	20.1%
日本	11,702	23.4%	12,800	21.3%	1,097	9.4%
米州	21,888	43.8%	30,500	50.8%	8,611	39.3%
中国	8,198	16.4%	8,300	13.8%	101	1.2%
アジア	5,676	11.4%	5,700	9.5%	23	0.4%
欧州	1,823	3.7%	1,900	3.2%	76	4.2%
その他地域	677	1.4%	800	1.3%	122	18.0%

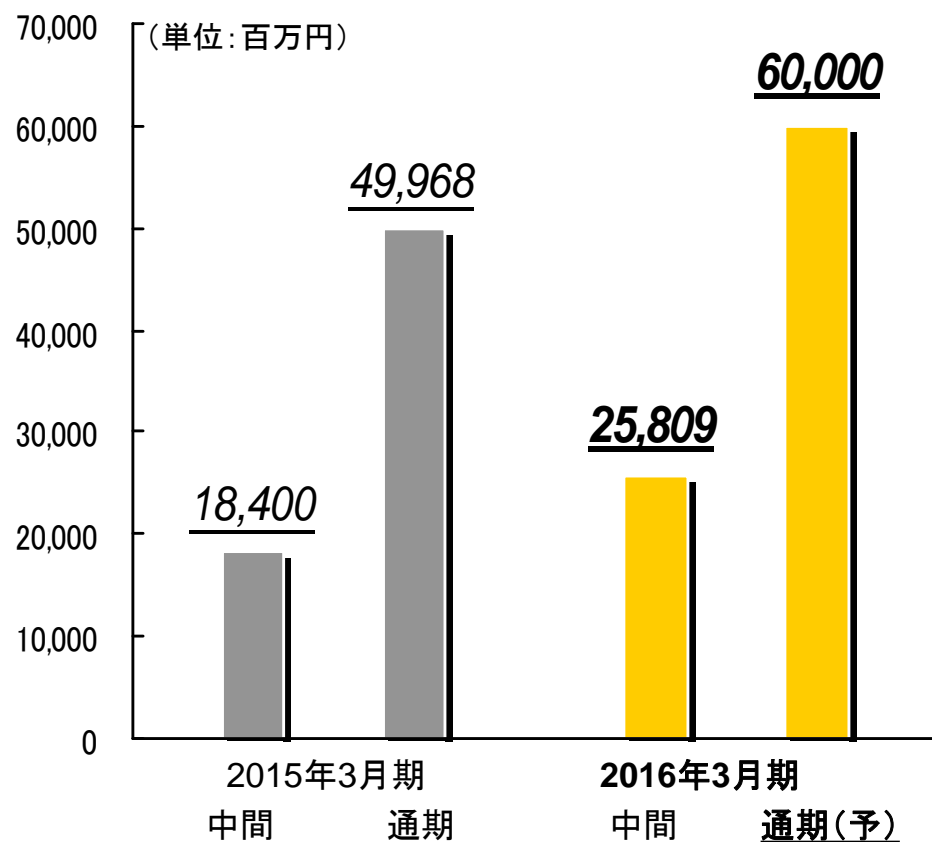
注 為替レート(2015/3期→2016/3期) : USD 109.9円→**115.0円** CAD 96.5円→**95.0円** EUR 138.8円→**130.0円** RMB 17.2円→**18.8円**

地域別
売上高構成比

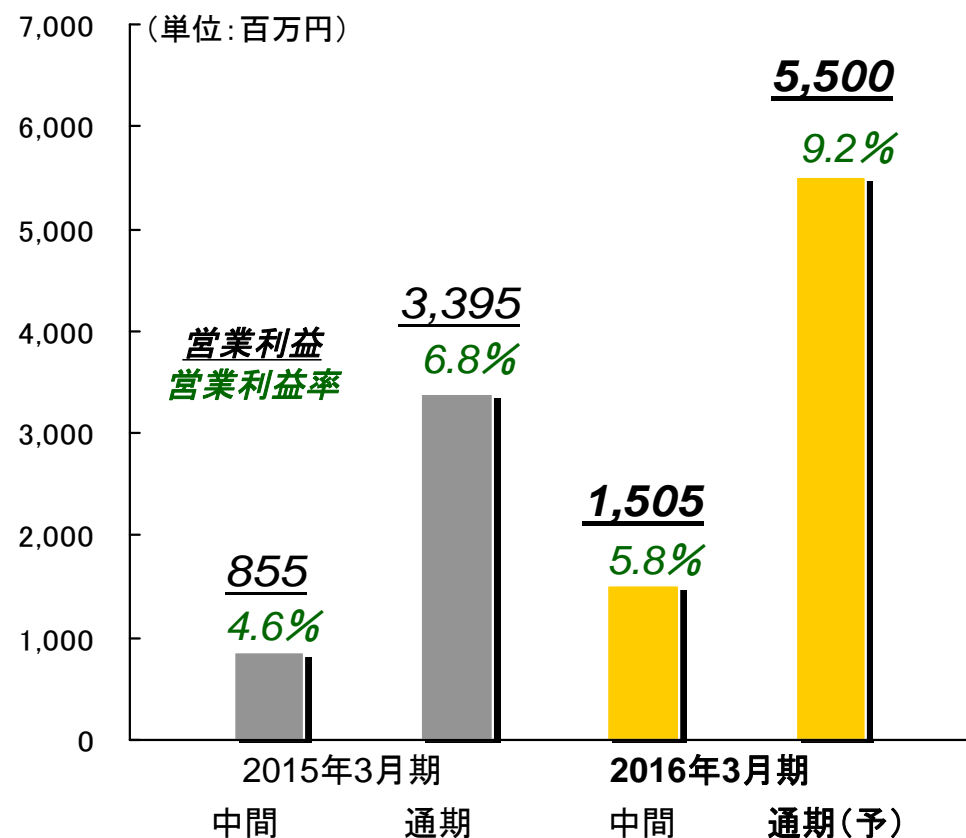


米州、国内市場が業績をけん引
中国・アジア市場の落ち込みを補い、売上高600億円に

売上高



営業利益・営業利益率



EPS、ROE とともに改善を見込む

(単位：百万円)	2015/3期			2016/3期(E)		
		対売上	前期比		対売上	前期比
売上高	49,968	100.0%	19.4%	60,000	100.0%	20.1%
営業利益	3,395	6.8%	△15.2%	5,500	9.2%	62.0%
経常利益	3,423	6.8%	△16.4%	5,000	8.3%	46.0%
当期純利益	2,026	4.1%	△14.2%	3,000	5.0%	48.0%
EPS	77.52円	-	-	114.36円	-	-
ROE	8.9%	-	-	≒12.2%	-	-
設備投資額	1,408	-	-	2,200	-	-
減価償却費	1,311	-	-	2,000	-	-

注 為替レート(2015/3期→2016/3期) : USD 109.9円→115.0円 CAD 96.5円→95.0円 EUR 138.8円→130.0円 RMB 17.2円→18.8円

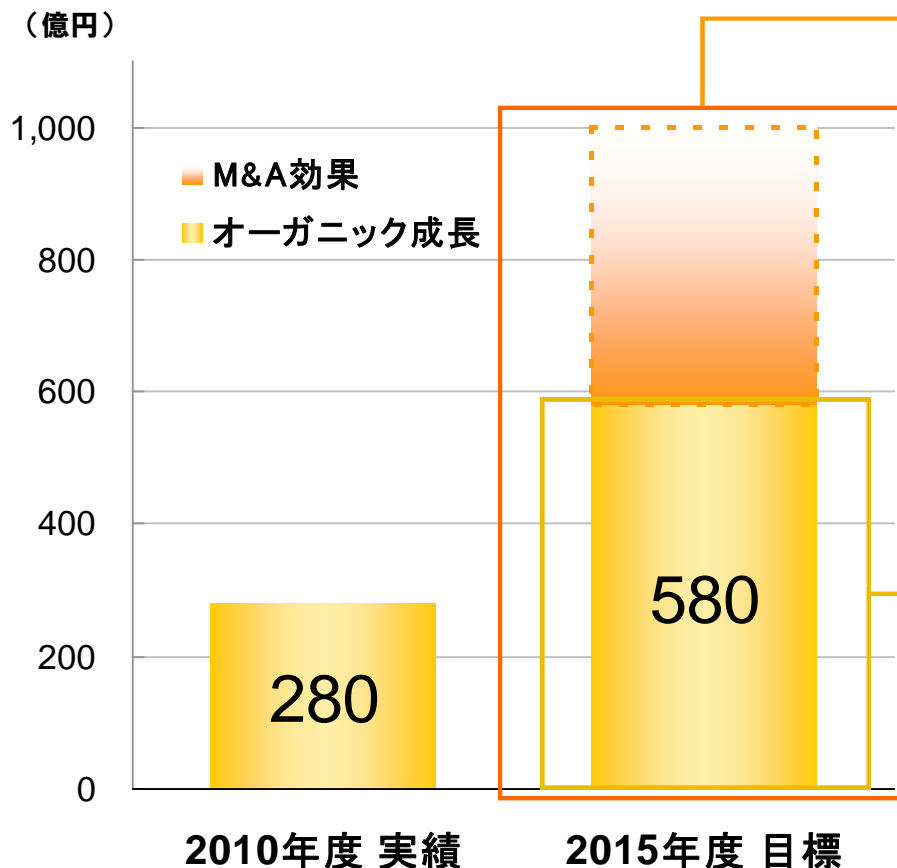
中期経営計画(2011-2015)

(ご参考) 現中期経営計画 2011年度 スタート時の前提

中期目標

- 日本企業から真のグローバル企業へ
- グローバル売上1000億円企業となる

売上見込および目標



グローバル売上1,000億円企業となる

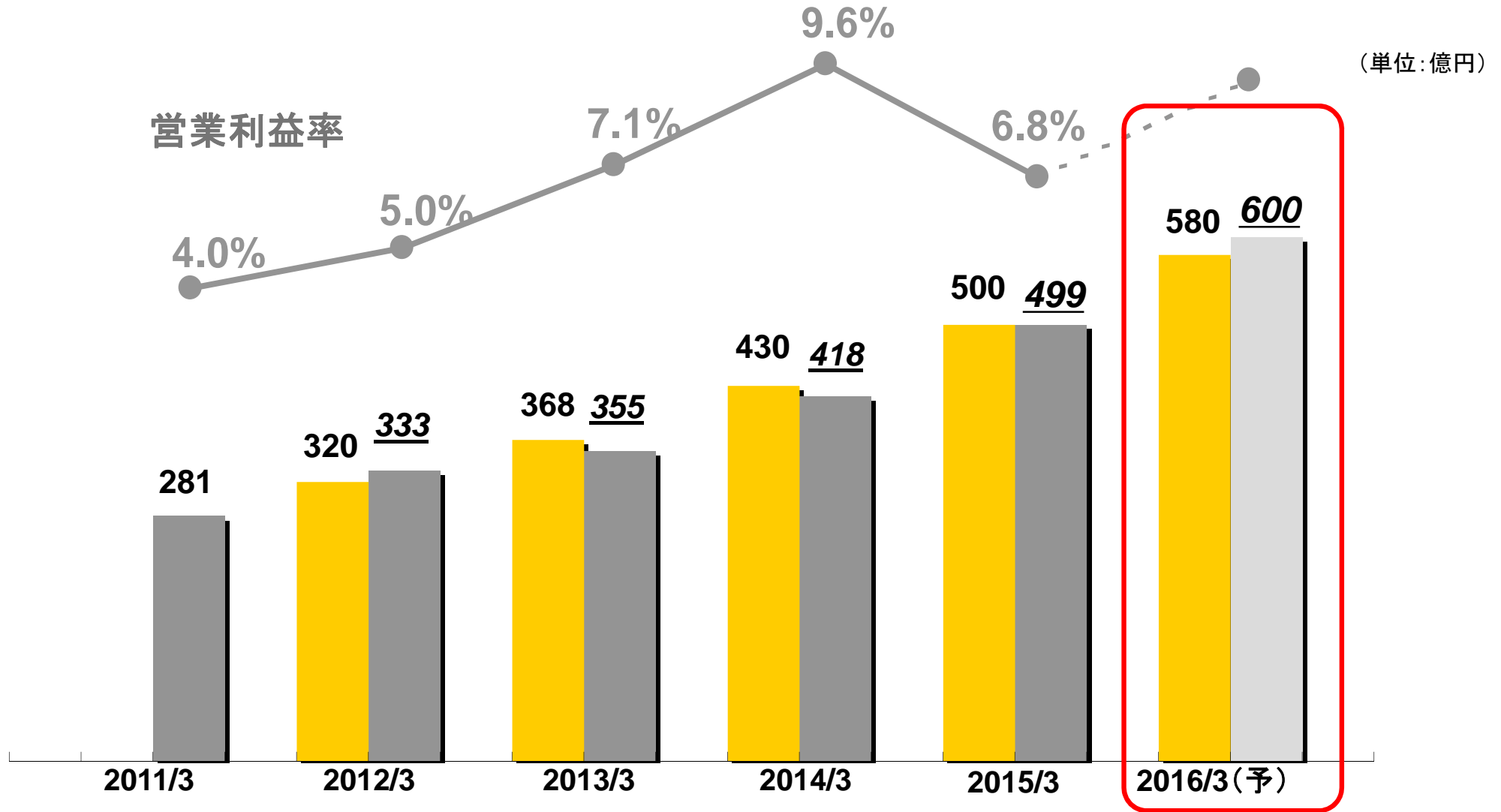
オーガニック成長の売上580億円に加え、積極的なM&Aによるさらなる拡大を進め、売上1000億円を超える企業となる

日本企業から真のグローバル企業へ

キトーがグローバルNo.1のホイストメーカーになるために、今後の5年間は事業規模拡大の大きなチャンスである。日本発の海外事業拡大から、世界各地のリソースを活用した事業拡大へと転換していく

中期経営計画の進捗状況

最終年度は、M&Aによる成長も取り込んで、
当初計画比増の600億円、平均成長率は20%に



For the Global Next Stage

KITO

KITO group global unified slogan

常にお客様の期待を上回る価値を提供し続け、市場におけるキトーブランドの価値を最大化し、「真のグローバルNo. 1のホイストメーカー」を目指します。